

女性消防団員用夏帽子仕様書

京都市消防局 消防団・自主防災推進室

(担当 采女、鳥居 212-6617)

第1 総則

- 1 本仕様書は、京都市消防局（以下「当局」という。）が調達する女性消防団員用夏帽子の仕様について定める。
- 2 この女性消防団員用夏帽子に使用する材料及び付属品は、全般にわたって十分検査され、本仕様書のすべてを満足するものでなければならない。
- 3 この女性消防団員用夏帽子は、寸法、形状等について本仕様書に定めるものであり、傷、むら、斑点、汚れ及びその他外観を損ねるものであってはならない。
- 4 本仕様書の細部については、すべて当局の承認又は指示を受けるものとし、本仕様書に明示されていない事項についても、それが縫製上当然必要な場合は、これを施行すること。

なお、縫製上のことで疑義が生じたときは、速やかに当局の指示を受けること。

- 5 仕様生地について、同等品で納入を希望する場合は、同等品確認時に、生地見本（10cm四方以上。染色が必要な生地にあつては染色前、染色後いずれのものでも可。ただし、染色前の生地で同等品確認を受けた場合にあっては、契約後、染色後の生地について、再度同等品確認を行う。この際、同等品として認められないこととなった場合は、原則、契約解除となることに留意すること。）に加え、国内紡績メーカーによる品質証明及び出荷引受書又は公的機関の試験成績結果を証明する書類を当局へ提出すること。また、国内紡績メーカーの品質証明を提出する場合であっても、本仕様書の性能を満たしていることが判断できないときは、公的機関の試験成績結果を証明する書類を当局へ提出すること。

なお、公的機関の試験成績結果を証明する書類について期限までに提出できない場合にあっては、契約後に提出することを認める（契約後提出する旨の申出書を提出すること。）。ただし、契約後、当該書類の確認により同等品として認められないこととなった場合は、原則、契約解除となることに留意すること。

- 6 落札業者は、本製作に着手する前に見本を製作し、当局の承認を得ること。
- 7 サイズについては、別紙1サイズ適応表のとおりとする。
- 8 別紙1サイズ適応表に適合しない者については、指定の場所へ採寸に行き、調製すること。
- 9 契約後1年以内に、主材料生地に顕著な支障を生じ又は縫製上の欠陥を生じた場合にあっては、落札業者の責任において取り替え等必要な措置を講ずるものとする。
- 10 各サイズの数値の内訳については、契約後指示する。
- 11 契約後打合せを実施する。
- 12 請求書は購入物品ごとの単価及び数量がわかるよう明記すること。

第2 調達数、履行期限及び納入場所

1 調達数

女性消防団員用夏帽子 50個

2 履行期限

令和9年3月31日（水）まで

3 納入場所

京都市消防局 北野倉庫

京都市上京区今小路通御前西入紙屋川町870番地

第3 使用素材、形状及び帽章

1 表地

別紙2のとおり

2 裏地

同色系の良質なものを

3 芯地

接着芯 良質なものを

4 カン

良質なものを

5 縫糸

ポリエステル 100%スパン 生地同色

6 サイズマーク

印刷号数表示

7 形状

円形つば型（別図1のとおり）

8 帽章

銀色で縫製すること（別図2のとおり）

9 周章

帽の腰まわりには、幅38ミリメートルの黒又はその類似色のななこ織をつけること。

10 片布

内側に付けること。（別図3参照）

第4 縫製要領

1 各部の縫合わせは優良で、縫い代は十分であること。

2 縫目の目飛びは、縫糸はずれがないこと。

3 糸調子は良好で、縫目曲がり、縫縮みが無いこと。

4 縫い目数は3センチ間12針以上とする。

5 縫い始めと縫い終りは、必ず返し針を行い、糸屑が残らないこと。

6 裁断の型入れは、布目を通し、反取りを原則とする。

7 製品に汚れや針穴がないこと。

8 細部は当局の承認又は指示を受ける。（現物見本を提示）

第5 包装

製品は個別に透明な袋に入れ、それに「女性夏帽子」及びサイズを表示したシールをそれぞれ貼ること。

第6 その他

- 1 納入後であっても、地質、形式、縫製等に不備又は相違があるときは、速やかに補修又は取り替えること。
- 2 生地の色相については、ビーカー試験後、速やかに当局にサンプルを提示すること。
- 3 受注者は、本制作に着手する前に見本を制作のうえ、当局に提出し承認を得ること。
- 4 サイズについては、サイズ適応表のとおりとし、細部については採寸し、寸法の調整を行うこと。
- 5 採寸分については、サイズ適応表各号数の見本を着用させ、寸法調整を行うこと。
- 6 サイズ内訳については、後日提示する。
- 7 受注業者は、契約締結後、速やかに当局担当者と詳細打合せを実施すること。
- 8 契約締結後に、マスターとなる基本型紙を提示する。
- 9 この仕様書に定められていない事項については、契約決定後に当局担当者と協議すること。

別紙 1

女性消防団員用夏帽子サイズ適応表

(単位：cm)

サイズ	S	M	L	L L
	5 4	5 6	5 8	6 0

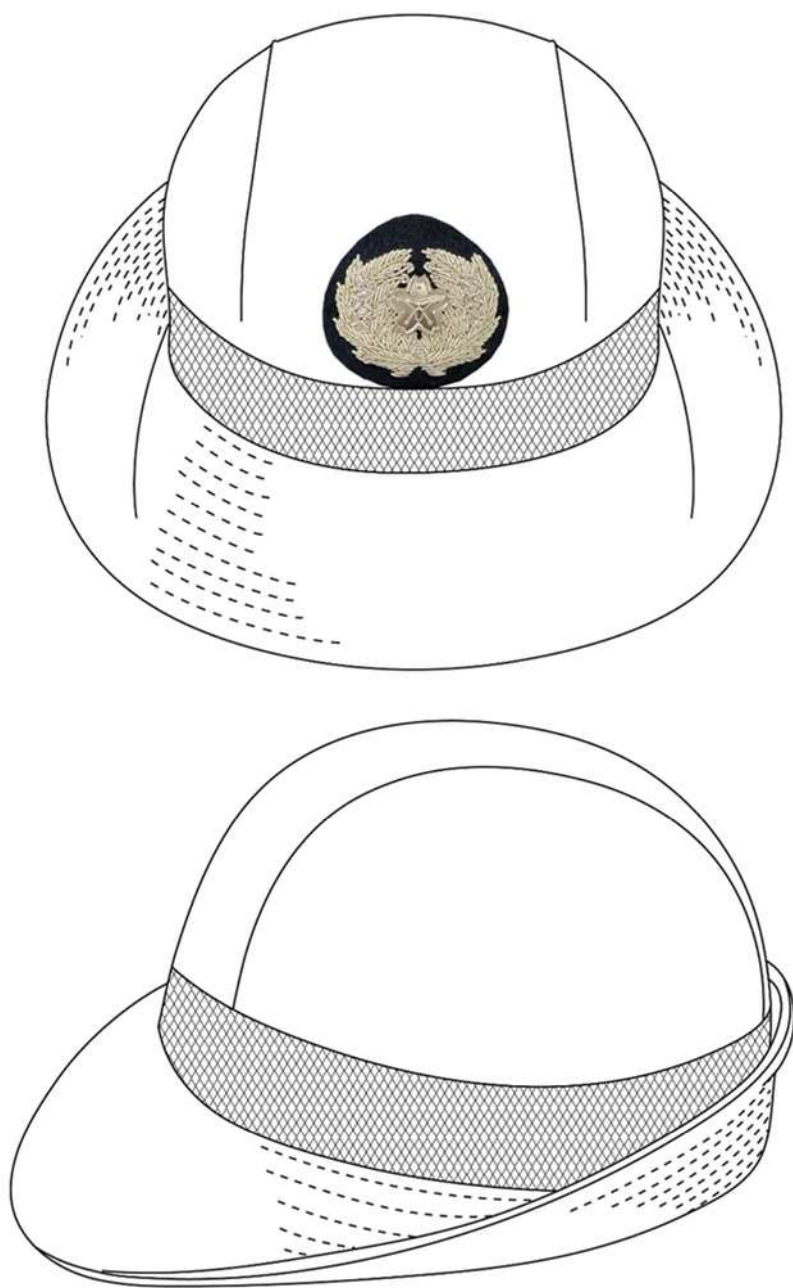
別紙 2

女性消防団員用夏帽子材料仕様（表生地）

下記の生地又は同等品とする。

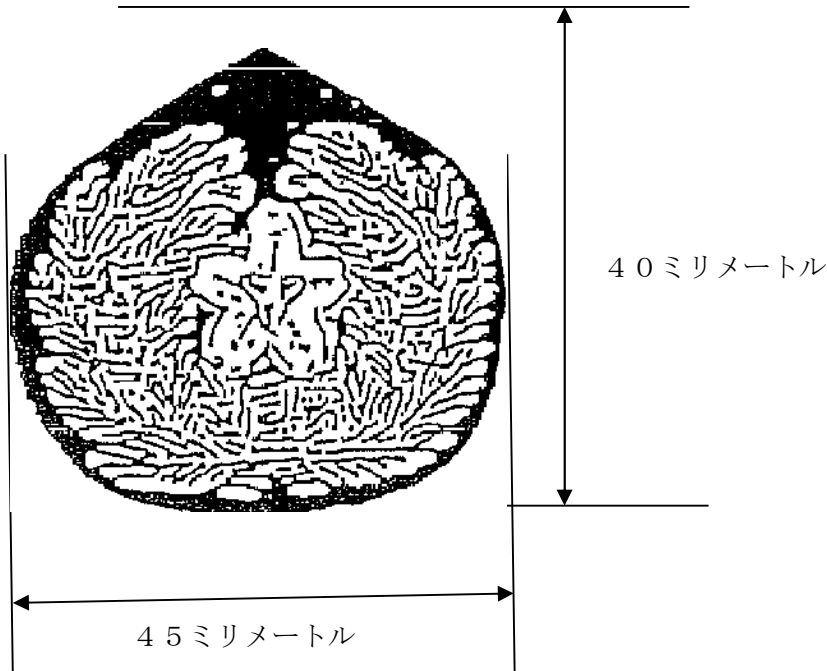
メーカー	トスコ株式会社
品名	EC03620BL
混用率	麻（長繊維糸）15% ポリエステル（再生ポリエステル使用）85%
番手	（経）36/1*167dtex （緯）36/1*167dtex
密度 （インチ間）	（経）58本以上 （緯）48本以上
質量	165g/m ² 以上
引張強さ	（経）780N以上 （緯）680N以上
寸法変化率	（経）±1.5%以内 （緯）±1.5%以内
ピリング	4級以上
染色堅牢度	（耐光・洗濯・汗・摩擦）4級以上
組織	平織
制電性	制電機能を付与
色相	指定色（濃紺）

別図 1



別図 2

帽章



別図 3

片布

夏帽	
京都市〇〇消防団	
氏名	
サイズ	
(業者名) 納	
※〇〇は2文字分の空白	

女性消防団員用夏服仕様書（上衣（長袖）、ズボン）

京都市消防局消防団・自主防災推進室

（担当 采女、鳥居 212-6617）

第1 総則

- 1 本仕様書は、京都市消防局（以下「当局」という。）が調達する女性消防団員用夏服の仕様について定める。
- 2 この女性消防団員用夏服に使用する材料及び付属品は、全般にわたって十分検査され、本仕様書のすべてを満足するものでなければならない。
- 3 この女性消防団員用夏服は、寸法、形状等について本仕様書に定めるものであり、傷、むら、斑点、汚れ及びその他外観を損ねるものであってはならない。
- 4 本仕様書の細部については、すべて当局の承認又は指示を受けるものとし、本仕様書に明示されていない事項についても、それが縫製上当然必要な場合は、これを施行すること。

なお、縫製上のことで疑義が生じたときは、速やかに当局と協議をすること。

- 5 仕様生地について、同等品で納入を希望する場合は、同等品確認時に、生地見本（10cm四方以上。染色が必要な生地にあっては染色前、染色後いずれのものでも可。ただし、染色前の生地で同等品確認を受けた場合にあっては、契約後、染色後の生地について、再度同等品確認を行う。この際、同等品として認められないこととなった場合は、原則、契約解除となることに留意すること。）に加え、国内紡績メーカーによる品質証明及び出荷引受書又は公的機関の試験成績結果を証明する書類を当局へ提出すること。また、国内紡績メーカーの品質証明を提出する場合であっても、本仕様書の性能を満たしていることが判断できないときは、公的機関の試験成績結果を証明する書類を当局へ提出すること。

なお、公的機関の試験成績結果を証明する書類について期限までに提出できない場合にあっては、契約後に提出することを認める（契約後提出する旨の申出書を提出すること。）。ただし、契約後、当該書類の確認により同等品として認められないこととなった場合は、原則、契約解除となることに留意すること。

- 6 落札業者は、本製作に着手する前に見本を製作し、当局の承認を得ること。
- 7 サイズについては、別紙サイズ適応表のとおりとする。
- 8 サイズ適応表に適合しない者については、指定の場所へ採寸に行き、調製すること。
- 9 契約後1年以内に、主材料生地に顕著な支障を生じ又は縫製上の欠陥を生じた場合にあっては、落札業者の責任において取り替え等必要な措置を講ずるものとする。
- 10 各サイズの数量の内訳については、契約後指示する。
- 11 契約後打合せを実施する。
- 12 請求書は購入物品ごとの単価及び数量がわかるよう明記すること。
- 13 細部は当局の承認又は指示を受ける。（詳細は現物見本を提示）

第2 調達数、納品期限及び納入場所

1 調達数

- | | |
|------------------|-----|
| (1) 女性消防団員夏服（長袖） | 50着 |
| (2) 女性消防団員夏服ズボン | 50着 |

2 サイズ内訳

サイズ内訳については、契約決定後提示。

3 履行期限

令和9年3月31日（水）まで

4 納入場所

京都市上京区今小路通御前西入紙屋川町870番地

京都市消防局北野倉庫

第3 型式

1 上衣

開衿型（長袖）とし、左右にプリーツ付胸ポケット（雨蓋付）各1個、ボタン5個付きとする。

2 ズボン

スラックス形式

第4 使用素材及び付属品

- | | |
|------------|------------------------|
| 1 表地 | 女性消防団員用夏服材料仕様（表生地）のとおり |
| 2 裏地 | 同色系の良質なものを |
| 3 芯地 | 接着芯 良質なものを |
| 4 肩パッド | 良質適性品 |
| 5 ファスナー | YKKエフロンファスナー |
| 6 カン | 良質なものを |
| 7 ボタン | 当局了承のもの |
| 8 縫糸 | ポリエステル 100%スパン 生地同色 |
| 9 インサイドベルト | 幅4.0cm |
| 10 サイズマーク | 印刷号数表示 |
| 11 その他 | 図1及び図2のとおり |

第5 縫製要領

- 1 各部の縫合わせは優良で、縫い代は十分であること。
- 2 縫目の目飛びは、縫糸はずれがないこと。
- 3 糸調子は良好で、縫目曲がり、縫縮みが無いこと。
- 4 縫い目数は3cm間12針以上とする。

- 5 ボタン付けは機械付けとする。手付けの場合は2本糸で1穴2回通し根巻3回以上とする。
- 6 縫い始めと縫い終りは、必ず返し針を行い、糸屑が残らないこと。
- 7 裁断の型入れは、布目を通し、反取りを原則とする。
- 8 製品に汚れや針穴がないこと。
- 9 衿先の左右、ポケットの左右バランスがとれていること。

第6 縫製仕様

1 上衣（長袖）

(1) 衿

開衿とする。

上衿に芯を接着し、周りにステッチをかけること。

形状については図1参照。

(2) 前身頃

ア 左右胸には、雨蓋プリーツ付きポケットを各1個設ける。

イ 右胸ポケット口中央部上に階級章止めループを設ける。

ウ 前中心部にボタン（15mm径）5個を取付ける。

(3) 雨蓋

ア 雨蓋周囲に6mm幅のステッチをかけ、右雨蓋の中央にねむり穴かがり1個を設ける。

イ 左雨蓋には3cm幅のペン差しを設ける、中央にボタン(15ミリ径)を縫い付ける。ボタンの裏側には縦2cm横4cmの面ファスナーA面（白色）を縫い付ける。

ウ 雨蓋ボタンホール上にオレンジのテープ（5mm巾）を取付ける。

エ 出来上がり寸法は、図1の通り。

(4) 胸ポケット

ア ポケット中央には1.9cm幅のプリーツを設け、プリーツ両端は2mm幅のステッチでつまむ。

イ ポケットの取付けは1mm幅のステッチ押えとし、雨蓋から8mm下がった位置に取付ける。

ウ ポケット口折り返しは、端をオーバーロック掛けとし、幅1cmのミシン押えとする。

エ ポケット寸法は、図1の通り。

オ 左ポケット上部には縦2cm横4cmの面ファスナーB面（白色）を縫い付ける。

(5) 階級章止め

右雨蓋中央部の1.5cm上部に6mm×17mmのループを2個取付ける。

(図1 参照)

(6) 肩パット

左右の肩にはマジックテープで取り外し可能な肩パットを取付ける。

(7) 袖

通常の一枚袖とし、長袖の袖口は、袖山線を中心に3本のタックを取り、6 cm 幅のカフスを取付ける。開きは剣ボロ始末とする。

(8) カフス

ア 表側に織物しんを接着する。

イ 中央上前端には、ねむり穴かがり1個を設け、下剣ボロにはボタン（11 mm 径）を1個取付ける。

(9) 剣ボロ

ア 上剣ボロ2.5 cm幅、下剣ボロ1.5 cm幅で、13 cm幅とする。

イ 上剣ボロ中央には、ねむり穴かがり1個を設け、対応する他方にはボタン（11 mm径）を1個取付ける。

(10) 袖付け、脇合わせ、袖下

インターロック縫い合わせとする。

(11) 片布

上前胸ポケット裏に付ける。

(12) 号数表示

襟吊り右横に縫い込む。

2 ズボン

(1) 脇ポケット

ア 左右腰部各1個取り付け、ポケット口は5 mm幅のステッチをかける。

イ 口幅は14 cmとし、両端はかんぬき止めをする。

ウ 袋布はスレーキーを使用し、底は2重縫いとする。深さはポケット口下部から12 cmとする。

(2) 前身頃

ア 左右各1本の外向きタックを設ける。

イ 前立て押え幅3.0 cmとし、ファスナー付けとする。

前立てには芯を接着する。

ウ ファスナーには前カンを取り付ける。

エ 前立て下部にはかんぬき止めをする。

オ 持出しは芯地を接着し、上端はかんぬき止めをする。

(3) 後身頃

左右各1本のダーツを設ける。

(4) 後ポケット

ア 右は片玉縁ポケットとし、片玉縁幅は1 cm、口巾12 cmとする。

- イ 左は雨蓋付きとし、ねむり穴1個を設け、ボタン（15mm径）を取付ける。
- ウ ポケット口周りはコバミシン押えをし、両端はかんぬき止めをする。
- エ 袋地及び向布は共生地を使用し、袋地にあつては幅16cm、深さ14.5cmとする。
- (5) ウェストベルト
インサイドベルト幅は4.0cmとし、脇ゴムは3.5cmとする。
- (6) タック
ワンタック（外向き）とし、アウトタックとする。
- (7) ベルトループ
1.0cm幅のループを前後各2本取り付ける。
- (8) かぎホック、ファスナー
ウェストベルトにかぎホックを付け、ファスナー（長さ20cm）は、前中央部に縫着する。
- (9) 脇、内股
カン縫いとする。
- (10) 裾口
ア 裾はフリーとし、裾上げテープを袋に同封する。
イ 裁目はオーバーロックかがりとする。
- (11) 尻合わせ
本縫いミシンで割り縫い仕様とする。
- (12) シック布
天狗裏より内股、小股の交点までスレーキを取り付ける。
- (13) 片布、洗濯表示
指定の場所に付け、その下に洗濯表示を挟み込む。号数表記部分に夏服である旨を記載する。
- (14) 号数表示
号数表示はベルト裏に挟み込む。
- (15) その他
図2のとおり。

第7 包装

製品は個別に透明な袋に入れ、それに「女性夏服長袖」、「女性夏服ズボン」及びサイズを表示したシールをそれぞれ貼ること。

シールについては、縦3cm、横10cmとすること。

別紙

女性消防団員夏服（長袖）サイズ適応表

(単位：cm)

サイズ	7号	9号	11号	13号	15号	17号	19号
肩幅	41	42	43	44	45	46	47
バスト	99	102	105	108	112	116	120
着丈	62	62	62	62.5	63	63	63
袖丈 (長)	56	56	56	56.5	57	57	57
袖丈 (半)	25	25	25	25.5	26	26	26

女性消防団員用夏服ズボンサイズ適応表

(単位：cm)

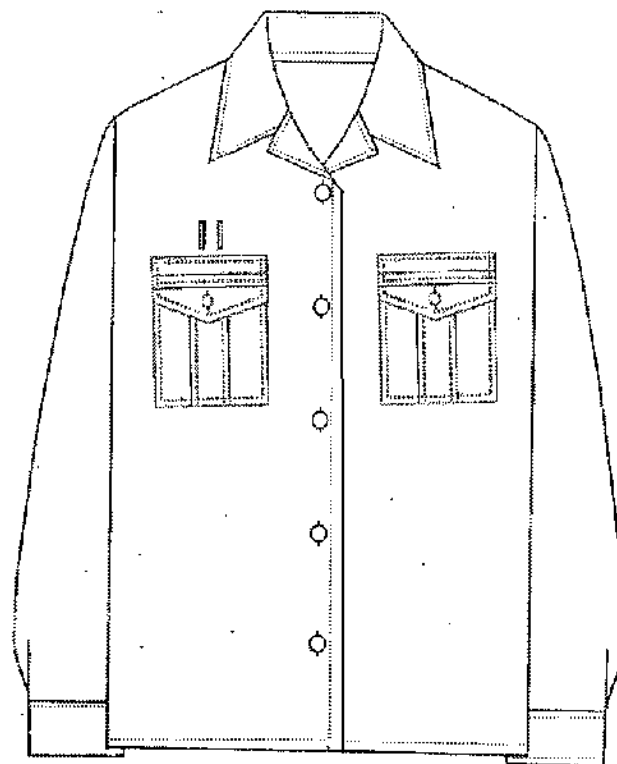
サイズ	ウエスト	ヒップ	股上	裾巾	股下
7号	59～67(60)	99	26.5	21	裾フリー
9号	62～70(63)	102	27	21	
11号	65～73(66)	105	27.5	22	
13号	68～76(69)	108	28	22	
15号	71～79(72)	111	28.5	22	
17号	74～82(75)	114	29	22	
19号	79～87(80)	119	29.5	23	
21号	84～92(85)	124	30	23	

女性消防団員用夏服材料仕様（表生地）

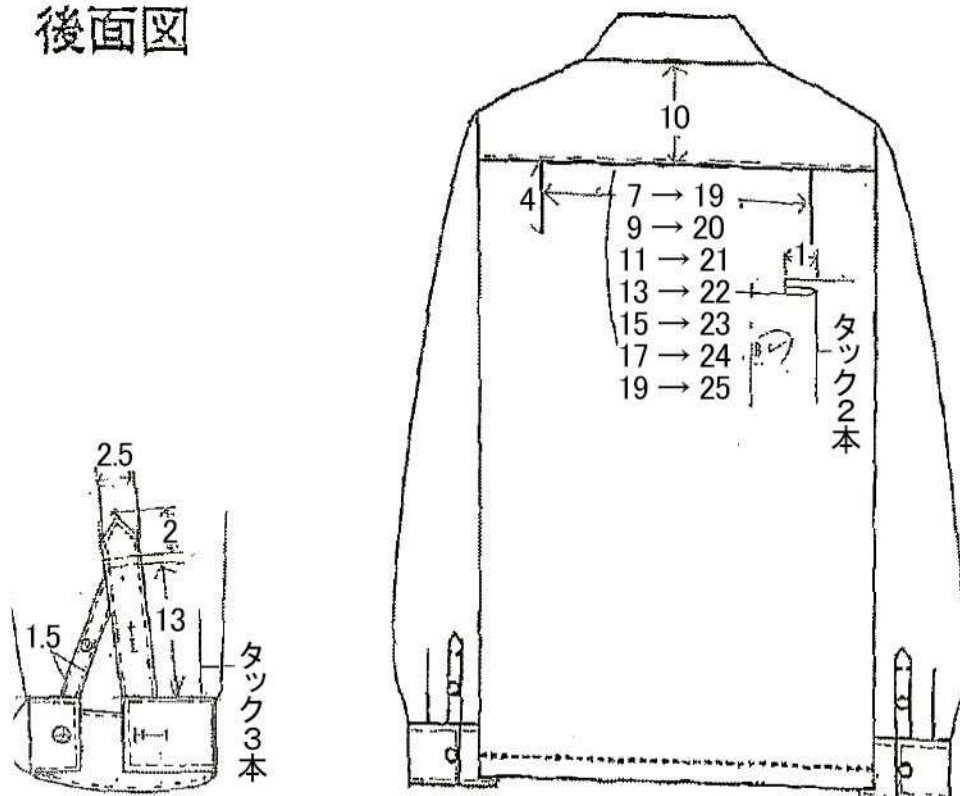
下記の生地又は同等品とする。

メーカー	トスコ株式会社
品名	EC03620BL
混用率	麻（長繊維糸）15%±5% ポリエステル（再生ポリエステル使用）85%±5%
番手	（経）36/1*167dtex （緯）36/1*167dtex
密度 （インチ間）	（経）58本以上 （緯）48本以上
質量	165g/m ² 以上
引張強さ	（経）780N以上 （緯）680N以上
寸法変化率	（経）±1.5%以内 （緯）±1.5%以内
ピリング	4級以上
染色堅牢度	（耐光・洗濯・汗・摩擦）4級以上
組織	平織
制電性	制電機能を付与
色相	指定色（上衣：淡青、ズボン：濃紺）

図 1

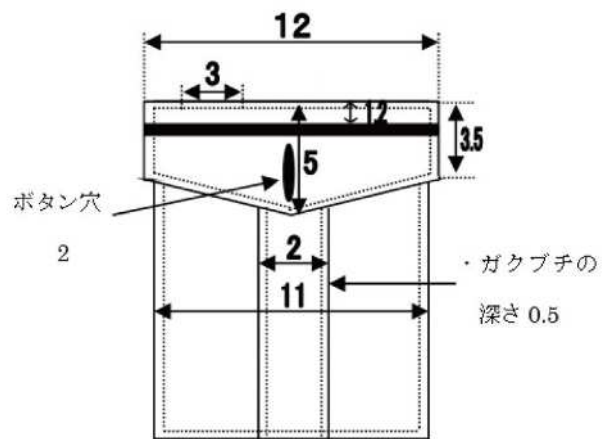


後面図

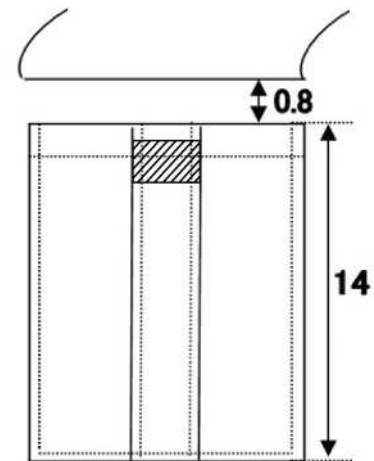
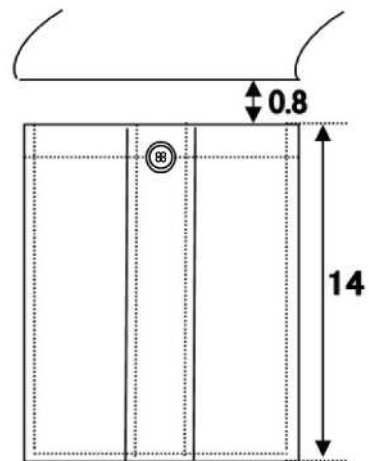
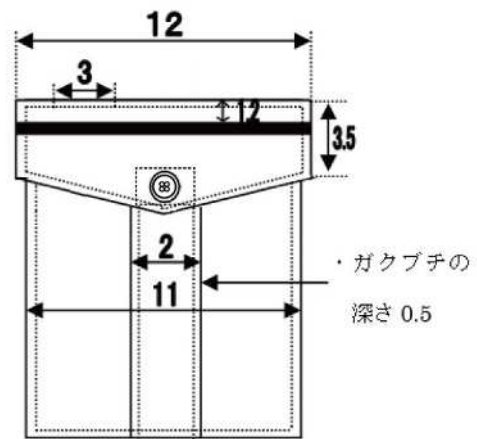


正面図 単位 (cm)

(右ポケット)



(左ポケット)



後面図

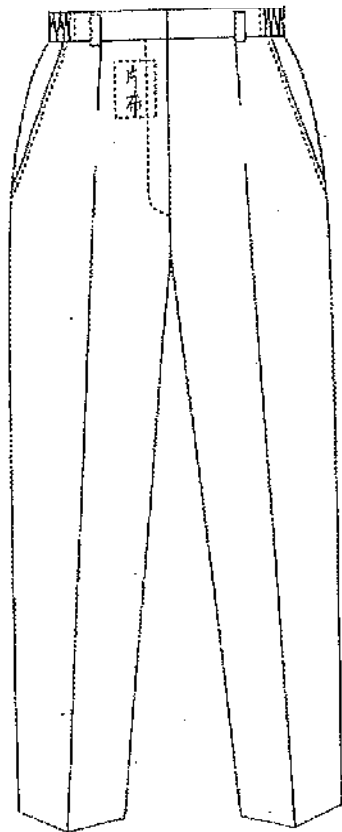
京都市〇〇消防団	
号数	氏名
号 数 を 記 入 す る	
(業 者 名) 納	

タテ 7cm×ヨコ 5cm

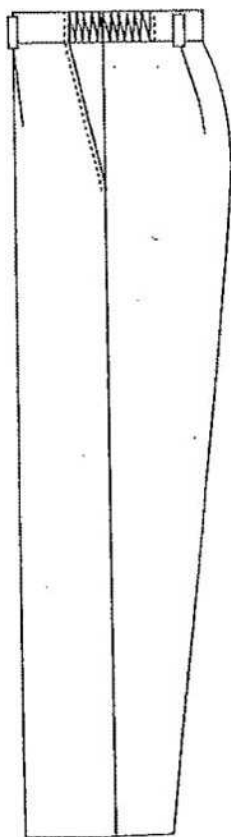
※〇〇は 2 文字分の空白

図 2

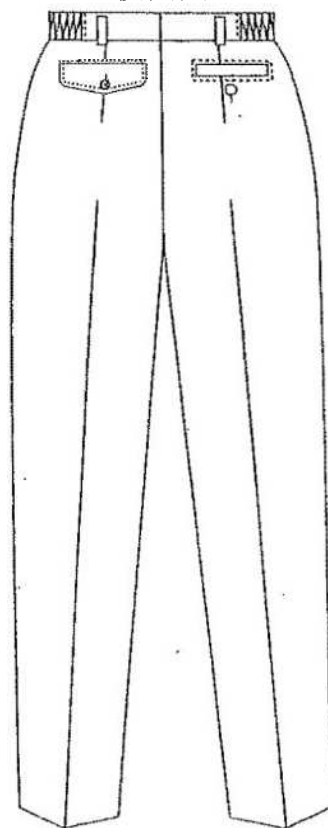
前面図



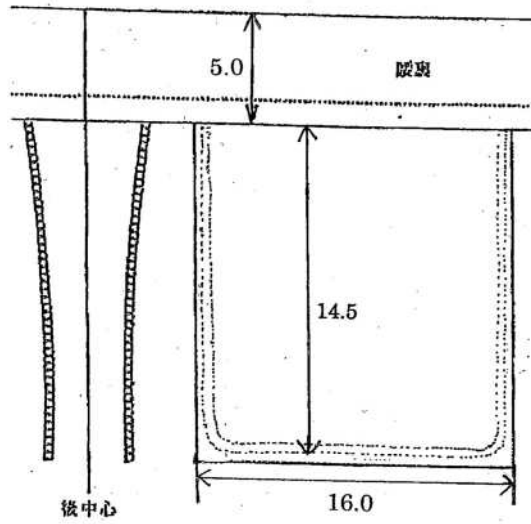
側面図



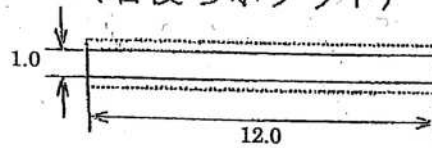
後面図



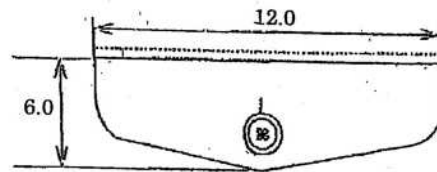
(後ろポケット)



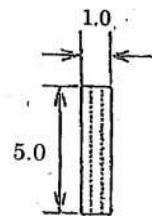
(右後ろポケット)



(左後ろポケット)

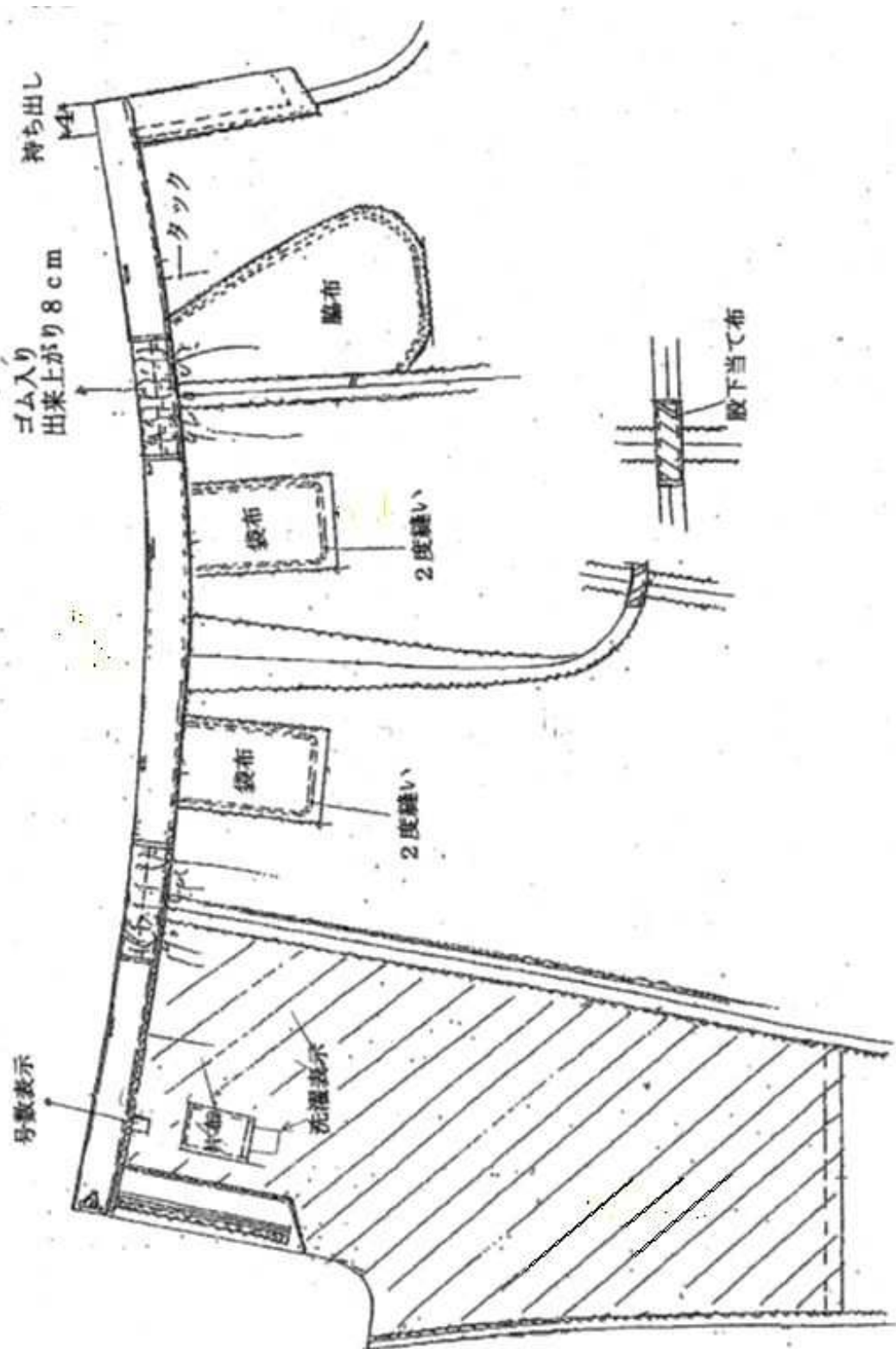


(ベルト通し)



(単位: cm)

ズボン裏地



片布

京都市〇〇消防団	
号数	氏名
夏服 号 数 を 記 入 す る	
(業 者 名) 納	

タテ 7cm×ヨコ 5cm

※〇〇は 2 文字分の空白